

令和7年度版「CAN-DO形式での学習到達目標リスト」

秋田県立角館高等学校定時制課程

卒業時の目標:身近な話題について、英語でコミュニケーションを図ることができる。

期間	PDCA サイクル	聞くこと	読むこと	話すこと(やりとり)	話すこと(発表)	書くこと
3年後期 以降	C2 ↑ A ↑	□身近なテーマについて話される英文を聞いて、話し手の意向や情報を理解することができる。 【評価】ワークシート、活動の観察	□辞書を引きながら、まとまりのある英文を読んで情報や考えを理解することができる。 【評価】定期考査、活動の観察	□ある程度準備をすれば、友人の発表に対して、英語を用い自分の意見や感想や質問を述べることができる。 【評価】スピーチ、Q&A	□身近なテーマについて、自分の調べたことをわかりやすく発表することができる。 【評価】スピーチ、Q&A	□身近なテーマについて、自分の調べたことをまとまりのある文にすることができる。 【評価】スピーチ、Q&A
3年前期	C1 ↑ D ↑ P	□はっきりと話されれば、短い物語を聞いて、ストーリーを理解することができる。 【評価】リスニングテスト、活動の観察	□辞書を引きながら、短い物語を読んで理解することができる。 【評価】ワークシート、活動の観察	□日常生活の話題について簡単な英語を用い意見交換をすることができる。 【評価】インタビューテスト、活動の観察	□即興で自分の感想や意見や質問を簡単な表現を使って話すことができる。 【評価】プレゼンテーション、活動の観察	□身近なことについて自分の意見や感想を入れながら、英語で書くことができる。 【評価】定期考査、ワークシート
2年後期	C2 ↑ A ↑	□身近な話題についての情報や質問を聞き取り、その内容を理解することができる。 【評価】インタビューテスト、活動の観察	□短い物語やEメールを読み、その情報の概要を理解することができる。相手の意向や要点を捉えることができる。 【評価】定期考査、ワークシート	□相手の発話について、聞き返しや確認及びつなぎ言葉や相づちを用いて、簡単な会話を継続することができる。 【評価】インタビューテスト、活動の観察	□身近な話題について、自分の感想を簡単な表現を使って話すことができる。 【評価】プレゼンテーション、活動の観察	□身近なことについて、学習した表現を用いて5文程度の英語を書くことができる。 【評価】定期考査、ワークシート
2年前期	C1 ↑ D ↑ P	□ゆっくり話される身近な話題や質問を聞き、概要を理解することができる。 【評価】インタビューテスト、活動の観察	□意味のまとまりを捉えながら、英文の内容を理解することができる。 【評価】定期考査、ワークシート	□日常生活の身近な話題について、5W1Hで始まる質問に答えることができる。 【評価】インタビューテスト、活動の観察	□将来の夢や自分の関心のある事柄について、簡単な表現を使って説明することができる。 【評価】インタビューテスト、活動の観察	□身近なことについて、基本的な短い英文で2、3文程度書くことができる。 【評価】定期考査、ワークシート
1年後期	C2 ↑ A ↑	□教師の英語による指示を理解することができる。 【評価】ワークシート、活動の観察	□写真やイラストを参考にしながら、簡単な英語で書かれたものについての大まかな情報を読み取ることができる。 【評価】定期考査、活動の観察	□日常生活の身近な話題について、Yes/Noで答える質問に回答することができる。 【評価】インタビューテスト、活動の観察	□日常生活の身近な話題について簡単な英語で説明することができる。 【評価】プレゼンテーション、活動の観察	□身近な話題について、与えられた型を使って英文を書くことができる。 【評価】定期考査、ワークシート
1年前期	C1 ↑ D ↑ P	□あいさつや身近な人物の自己紹介を聞いて理解することができる。 【評価】ワークシート、活動の観察	□日常生活の身近にある英単語を理解することができる。 【評価】定期考査、活動の観察	□簡単な挨拶を交わすことができる。簡単な指示に適切に回答することができる。 【評価】活動の観察	□簡単な挨拶や自己紹介ができる。 【評価】活動の観察	□身近にある単語を正しく書いたり、自分を紹介する簡単な英文を書くことができる。 【評価】定期考査、ワークシート